

大田広域市の概要

大韓民国 5 大都市の一つです。「大田」とは広大な土地を意味します。韓国のほぼ中心部に位置しており、南北をつなぐ高速道路と鉄道が交差する交通の要地となっています。

1993 年には大田世界博覧会(科学エキスポ)が開催され、韓国随一の科学技術都市としても知られています。現在は、大徳(デドク)研究開発特区や様々な国立研究所などが位置しており、「科学の都市」と呼ばれています。



【位置と面積】

位置：北緯 36 度 10 分、東経 127 度 33 分

面積：539.8km²

大田広域市は首都ソウルまでは 167.3km、釜山までは 238.2km、広州までは 169km の距離にあり、韓国の心臓部に位置しており、半日で国内のどこへでも移動することができます。ソウルから KTX（韓国高速鉄道）で南にわずか 1 時間の距離です。

【気候】

四方を山で囲まれた盆地地形で、はっきりとした四季があります。春は温かく空気が澄んだ日が多くとても快適で、夏は蒸し暑い気候で雨が多いです。秋は涼しくて快晴の日が多く、冬はシベリア気団の影響で寒くて乾燥しており、雪はあまり降りません。

2025 年の年間平均気温は、14.4℃で、降水量は 1,554 mm です。

【人口】

144 万 550 人（2026 年 1 月現在）。

ソウル、釜山、仁川、大邱に次ぐ韓国 5 番目の都市です。外国人住民は 28,364 人であり、そのうち日本人は 463 人います（2025 年 12 月末現在）。

【市章・ブランドスローガン】

市章：交通、行政、科学、文化の中心地として市民の夢と理想を表現しています。

ブランドスローガン：「Daejeon is U」は大田市の核心価値が市民であることを意味しています。



Daejeon is U

【市のマスコットキャラクター】

大田のマスコットキャラクターは、クムドリです。1993年に開催された大田世界博覧会に招待されてやってきた宇宙妖精で、科学技術と産業の発展による人類の平和と共存共栄の未来像を体現したキャラクターです。



【歴史（沿革）】

大田広域市は最先端科学の新興都市というイメージがありますが、大田地域からは先史時代の遺物と古代の壺が発見され、旧石器時代からの祖先が住んでいた悠久の歴史を持つまちなのです。

百済の時代には、都の置かれた公州に近接しており、いくつかの城壁が築られました。李氏朝鮮の時代には「幾湖学派」という韓国儒教の書院の中心地となり、幾人もの著名な儒学者を輩出しています。

日韓併合の時代には、ソウルから釜山まで鉄道が建設され、大田は運送の要地となりました。大韓民国独立後の1949年に大田市が成立。朝鮮戦争により大田市は廃墟と化しましたが、1970年代にはソウルから釜山、ソウルから木浦をつなぐ高速道路の分岐点となり、再び物流の中心地となりました。

1973年には「大徳研究団地」の開発が始まり、以後、韓国科学技術院などの研究機関が集積されていきます。そして1993年には大田世界博覧会（科学エキスポ）が開催され、大田市は世界的な都市に飛躍していきます。1995年には広域市に昇格し、現在でも科学の代表都市として発展を続けています。

大田広域市の歩み

1905年	京釜線大田駅開通
1931年	大田都市計画事業実施、大田面から大田邑に昇格（人口23,284人）
1932年	忠清南道庁の移転（公州→大田）
1949年	大田市に改称（人口126,704人）
1973年	大徳研究団地建設計画樹立
1977年	東区庁、中区庁設置
1989年	大徳郡を編入して大田直轄市に昇格（人口100万人突破）
1992年	大徳研究団地完工
1993年	大田世界博覧会（科学エキスポ）開催
1995年	大田広域市に名称変更
2001年	大田ワールドカップ競技場完工
2003年	大田文化芸術の殿堂開館

2007年	都市鉄道1号線地下鉄開通
2010年	人口150万人突破
2024年	都市鉄道2号線トラム着工（2028年開通予定）

【経済・産業】

大田広域市の産業は、サービス業が75.2%で一番多く、鉱業・製造業が17.5%、建設業が5.9%でその次を占めています。

また、IT融合・バイオメディカル・ナノ融合・精密機器に特化している大徳研究開発特区が位置しております。大徳研究開発特区は国内最高の研究機関が集積しており、公共研究機関が38カ所（政府出捐27カ所、教育機関7カ所、国公立研究機関4カ所）、その他の研究機関8カ所、政府及び国・公立機関30カ所、その他非営利機関が27カ所など、総計2,914機関が入居しています。

大田市のGRDP（地域総生産）は、56.3兆ウォンであり、全国9位です。1人あたりのGRDPは3,822万ウォン（2024年）です。

【交通】

大田は高速道路と国道、鉄道が京釜線（ソウルと釜山）と湖南線（大田と全羅南道）に分岐し、全国をつなぐ交通の要地です。また、大田と一番近い空港は清州国際空港で、バスで約1時間の距離にあります。清州国際空港は、2025年の利用客が年間400万人で、そのうち国際線利用客が172万人の中部圏の拠点空港です。

【イベント】

《大田サイエンスフェスティバル》

韓国を代表する科学文化のお祭りで、エキスポ科学公園一帯で開催されます。期間中、先端科学技術に関する理解を深めることが出来る科学技術展示や科学文化講演のほか、様々な体験プログラムが開催され、幅広い世代の関心を集めます。



《大田 0 時祭り》

2023 年から始まった夏祭りで、「大田ブルース」という昔の歌の歌詞、「さらば、私は去る。大田発 0 時 50 分」から着想した祭りです。タイムトラベルをコンセプトとして、大田の過去・現在・未来に会える祭りです。



《大田パン祭り》

大田パン祭りでは、大田地域の有名なパン屋「聖心堂」をはじめ、全国の有名なパン屋が一堂に会し、様々なパンやデザートが紹介されています。有名な製菓職人によるパン作りの実演や試食コーナーのほか、子供向けの特別な体験プログラムも用意されており、家族連れにも人気であり、多くの人々に愛されているお祭りです。



【スポーツ】

大田には 2002 年 FIFA ワールドカップを契機に造られた大田ワールドカップ競技場があります。ここを本拠地として活躍しているのは大田のサッカーチーム「大田ハナシチズン」です。2025 年の K リーグでは 2 位を取った優秀なチームです。

野球の場合、「ハンファイエーグルス」という野球チームがあります。2025 年に開業した大田ハンファ生命ボールパークを本拠地としており、2025 年度の正規リーグで 2018 年度の 3 位以来 7 年ぶりに 2 位になり多くのファンを熱狂させました。

【教育・文化】

大田の教育施設は 555 校あり、生徒総数は 256,747 人（2025 年）です。そのうち幼稚園が 224 校、小学校が 154 校、中学校が 90 校、高校が 62 校、特殊学校が 6 校です。大学は、韓国トップレベルのカイスト（KAIST）や地域拠点大学の忠南大学校、私立のハンナム大学校を含め 19 校が位置しております。

大田市は文化施設も充実しており、公演会場は 45 ヶ所、博物館は 16 ヶ所、美術館は 5 ヶ所、図書館は 27 ヶ所があります。

【大田市の姉妹都市】

1986 年	大田	(日本)
1989 年	シアトル	(アメリカ)
1994 年	ブダペスト	(ハンガリー)
1994 年	南京	(中国)
1996 年	カルガリー	(カナダ)
1997 年	グアダハラ	(メキシコ)
1999 年	ウブサラ	(スウェーデン)
2001 年	ノボシビルスク	(ロシア)
2002 年	ブリスベーン	(オーストラリア)
2005 年	ビンズオン	(ベトナム)
2010 年	札幌	(日本)
2011 年	モンゴメリー	(アメリカ)
2013 年	瀋陽	(中国)
2017 年	クズロルダ	(カザフスタン)